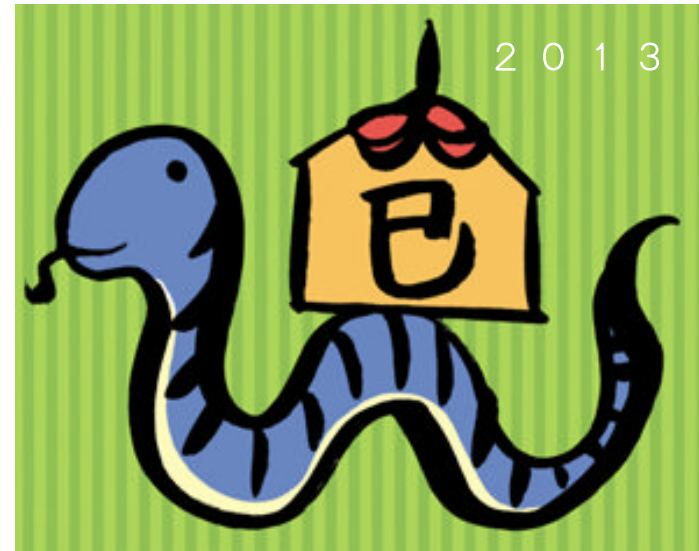


インターネット俳誌／SEIGETU

清 月

12月中の出句 16名 延べ527句



第161号 平成25年12月

インターネット清月俳句関係ページの閲覧者について

ゆたか

清月関係ページの閲覧者については、使用言語別などの分析を業者に依頼しています。
一二月三一日二四時間のチェック結果は、閲覧総数二、二六四回・うち七二%一、六二四回が清月俳句歳時記でした。

これを言語別で見ると国内（日本語）から五一%一、一五八回、英及び英領・米及び米領・カナダ・オーストラリアなど八〇余国の英語圏から四九%一、〇九九回で、その他の七回は、中国・韓国・ドイツ・ポルトガルでした。

国内は、うち三四%三九四回が東京都内からであり、ほか三一道府県内からの閲覧がありました。

インターネットは、国外赴任者らが日本語のパソコンを持ち込むものを除き、それぞれ自国の国語で使用されています。

清月では、俳句を画像（短冊の形）化していますので使用言語にかかわらず日本語の縦書き俳句を見ることが出来るので、これが英語圏など外国の日本語勉強者や俳句勉強者に好まれているのではないかと思っています。

この様に清月のインターネット俳句は、何処からでも誰でも見ることが出来ます。

もし、お子様やお孫様で遠く離れてお住まいの方がいらっしゃいましたら、清月俳句会のことをお知らせいただき、皆様の作品をご覧いただけましたら、皆様の出句が皆様の近況報告にもなりますのでご利用いただけましたら幸いです。

除夜

野田ゆたか

霜除の藁の匂へる暗夜かな
川涸れて風音走る流れ橋
冬紅葉日和くずしの風に散る
ルミナリエてふ華やぎも師走かな
一戸つつ灯り消えゆく除夜の閑

雑詠

ゆたか選

(太字は秀句)

どぶろくや白川郷の夜のふけて 愛知 足立山溪
早朝の寒気厳しき魚市場 同
髭あたる理容師の指霜焼て 同
大寒や東司掃除の修行僧 同
読初や新発売の電子辞書 同
墓石に夢と一文字山眠る 吹田 池下よし子
冬紅葉雨に艶ます無鄰菴 同
奈良町の軒にさるぼぼ暮早し 同
顔見世の間合よきこゑ大向う 同
色つくす楓紅葉や東福寺 同

一刀に冬至南瓜を両断す 岡山 橋本幹夫
 野営地も暮て車座桜鍋 同
 十二月八日の消灯喇叭かな 同
 鵜祭の鵜は放たれて暁闇へ 同
 念仏の声絶え間なく大根焚 同
 塩鮭をおろす包丁研ぎにけり 千葉 清水恵山
 音もなく日溜に来て冬の蠅 同
 恙無く老いし二人や晦日蕎麦 同
 たつぷりと香料振つて鯨鍋 同
 恙無く傘寿や天皇誕生日 同
 参拝は老若男女大根焚 大阪 木村宏一
 愛犬の主待つ声や年の暮 同

御手洗の竜の吐出す冬の水 大阪 木村宏一
 藁を打つ野外教室注連を結ふ 同
 猪鍋や猟自慢より始まりぬ 同
 ブイ傾げ寒満月の潮騒ぐ 千葉 田村公平
 時雨来て船笛長き壇ノ浦 同
 身の丈のくらし樂しみ年守る 同
 取り分けて息子夫婦へおでん鍋 同
 冬ざれや持てるはずなき力石 同
 駅伝の襷をつなぎ古都師走 三重 後藤允孝
 挽きたての珈琲香る冬の朝 同
 足早に過ぎ去る日日や年の暮 同
 潮鳴りの怒涛逆巻く冬の海 同

ゆつくりと貨車動きをり霜夜かな	三重	後藤允孝
白菜に天の恵みの重さかな	三重	山口美琴
子らの声無き校庭の冬木かな	同	
初雪や汁粉振舞ふりんご園	同	
単線の山裾白き枯尾花	同	
古井戸の蓋のひび割れ藪柑子	静岡	渡邊春生
枯れ深む藺草は風に纏れけり	同	
光り合ふ引佐細江のゆりかもめ	同	
泥鰌掘る湖のほとりの休耕田	同	
たずね来てまず庭先の寒椿	山梨	志村万香
木枯らしの聞きなれし音近かずきて	同	
振り向きて又振り向きぬ雪女	同	

激しさやポインセチヤの燃える色	山梨	志村万香
陽だまりの花弁に埋もれ冬の蜂	大阪	山縣伸義
遠山の色を替へたる枯尾花	同	
早立ちの一汁一菜根深汁	同	
寒禽の声の尖りや楠大樹	同	
着ぶくれて信号を待つ児童かな	千葉	筒井省司
寒々と登校指導の黄色旗	同	
白菜の山と積まれし直売所	同	
蒲の穂や枯れてそのまま立ち姿	大阪	森戸しゅじ
池の端や紅葉のままの波かたち	同	
北風の威嚇に耐えて鬼瓦	愛知	駒田暉風
南天の小枝を添えておせち詰	同	

布団干す前にヴェランダ拭かれ居り 愛媛 石川順一
バスの中次々変る雪の山 同



寸感

ゆたか

どぶろくや白川郷の夜のふけて 山溪

濁酒と静まり返った夜の白川郷の景とが
相俟って秋の夜長の至福の時の経過がよく
伝わってきます。

季題の濁酒がよく効いた佳句。

墓石に夢と一文字山眠る よし子

近年よく見かける洋式墓石。

故人の代名詞としての墓石の「夢」の文
字が、在りし日の生き様を伝えているかに
伝わってくる。

題の山眠るがよく働いている佳句。

一刀に冬至南瓜を両断す 幹夫

冬至まで保存されていた南瓜は固く女性
の手にはあまる。

力任せに断ち切る様子が鮮やかに伝わっ
てきます。

一句一章表現が成功した佳句。

塩鮭をおろす包丁研ぎにけり 恵山

正月用の鮭を目の前に出刃包丁の刃を整
えている様子とともに歳末の気忙しさが伝わ
ってきます。

省略の効いた佳句。

参拝は老若男女大根焚 宏一

厄除け法要行事として行われる大根焚。

寺院によって異なるが、十一月から十二月
にかけて行われ参詣人に煮大根が振る舞わ
れる。

大根焚の賑わいが伝わってくる佳句。

ブイ傾げ寒満月の潮騒ぐ 公平

船舶の安全航行のためのブイ。ブイを傾
げさせるほどの北風で荒れている海と高天
から煌々と照る寒満月から陰暦十二月十五
日の港の景と知れる。

寒夜の景がよく伝わってくる佳句。

清月俳句会員名簿

平25.12.31現在

No.	氏 名	都道府県名	入会年月
1	森戸しゅじ	大 阪	平15.04
2	木村宏一	大 阪	平15.07
3	湯沢正枝	山 梨	平18.02
4	駒田暉風	愛 知	平18.06
5	石崎そうびん	岐 阜	平19.06
6	石川順一	愛 媛	平20.01
7	橋本幹夫	岡 山	平20.06
8	志村万香	山 梨	平21.08
9	足立山溪	愛 知	平21.09
10	池下よし子	吹 田	平21.11
11	山口美琴	三 重	平22.01
12	清水恵山	千 葉	平22.07
13	筒井省司	千 葉	平23.07
14	堤千鶴子	兵 庫	平24.07
15	田村公平	千 葉	平24.10
16	渡邊春生	静 岡	平25.01
17	後藤允孝	三 重	平25.06
18	山縣伸義	大 阪	平25.06

インターネット俳句 清月
第161号
平成25年12月中の出句から

発 行
平成26年 1月20日

主宰 兼 編集
野田ゆたか

発行所
枚方市 大阪清月庵

清月俳句会のホームページ
[https://haiku575.info/seigetukai/
home/homu.htm](https://haiku575.info/seigetukai/home/homu.htm)

